

令和7年10月2日(木)



1 時間目は、3 年生の卒業アルバム用に集合写真を撮影しました。今回も業者さんをお願いしてドローン撮影です。ウィーンという音とともにドローンが舞い上がると、生徒たちから「おおー！」と歓声が上がります。秋晴れの青空を見上げ、みんないい表情で撮影に臨



みました。ドローンに搭載されているカメラは、とても小さいものですが、レンズは高性能です。先日撮影した 50 周年記念の全校集合写真を確認すると、遥か上空から撮影しているにも関わらず、一人一人の表情が鮮明でした。デジタル技術の進歩は、本当に目覚ましいものがあります。

2 年生の家庭科の授業は裁縫でした。本時は、まつり縫いに挑戦です。まつり縫いとは、表に縫い目が目立たないように縫い留める方法です。主にズボンやスカートの裾上げをする際に使います。これまでなみ縫いや返し縫いは学習してきましたが、まつり縫いは細かな運針が求められるため、なかなか一筋縄ではいきません。動画で確認してから取り組みましたが、苦戦している生徒の方が多かったです。



まつり縫いは、「纏り縫い」と書きます。「纏」は、「纏う（まとう）」と読むことの方が多いですね。「衣服を身に纏う」などが耳慣れた使い方です。「纏う」は、巻き付く、絡みつくといった意味があります。和服やドレスなどは、「着る」というより「纏う」と表現されます。身体へのフィット感的なところからくるニュアンスでしょうか。香水も「つける」ではなく、「纏う」が正しいようです。まつり縫いも、折った布を糸で絡み取るように針ですくっていきます。

私が子供のころ、母はまつり縫いでズボンのすそを上げてくれました。背が伸びると裾を少しおろして、再度まつり縫いをしてくれたものです。裾をおろしていく母の手元を見ながら、自分が大きくなったことを実感して嬉しかったものです。

明日、10月3日は定期試験のため、「WEST LIFE 校長の目」は、お休みします。